

日本卸売学会 平成30年度 第3回研究例会

【開催日時】平成30年12月1日（土）

【統一テーマ】『消費者利益向上への流通マーケティング戦略』

【実行委員長・コーディネーター】高橋郁夫氏（慶應義塾大学 教授・日本卸売学会 副会長）

【会場】慶應義塾大学 三田キャンパス 421 番教室

【プログラム】

13:30 開会の辞 高橋郁夫氏

13:35～14:20 第1報告
「地域社会等との共生を目指すボランタリーチェーン
～コスモス・ベリーズ(株)の挑戦～」
コスモス・ベリーズ株式会社 代表取締役会長 三浦一光氏

14:25～15:10 第2報告
「消費者利益向上のための食品ロス削減への取り組みと卸売業の役割」
公益財団法人流通経済研究所 主任研究員 石川友博氏
(休憩)

15:25～16:10 第3報告
「技術革新がもたらす近未来の小売店舗
～小売新技術の消費者受容に関する実証研究～」
慶應義塾大学商学部高橋郁夫研究室

16:15～17:00 第4報告
「消費者の自己概念と商品選択－J&Jの事例より－」
立教大学経営学部有馬賢治研究室

17:00 閉会の辞 宮下正房氏（東京経済大学名誉教授・日本卸売学会 会長）